

パンデミック

2021年 元旦礼拝

シリーズ~福音の力~

「パンデミック」とは

語源はギリシア語

- “パン(全て)” + “デーモス(人々)” > 全ての人々
- 感染症の世界的大流行を意味する言葉

新型コロナウイルス、パンデミックとなる！

- 2020年3月11日WHOのテドロス事務局長は、「新型コロナウイルス感染症は今やパンデミックであると言える」と発表
- 実は「パンデミック」の厳密な定義はない！

これまでの主なパンデミック

時代	場所	原因	死者
14世紀	ヨーロッパ	ペスト菌	7500万人
16世紀	メキシコ	ペスト菌	1700万人
16世紀	ヨーロッパ	インフルエンザ	2500万人
1918年	世界	スペイン風邪	5000万人
1958年	世界	アジア風邪	100万人
1968年	世界	香港風邪	75万人
2020年	世界	コロナウィルス	180万人

* SARS・MERSなどはパンデミックに分類されない

感染症と福音の共通点

人から人へ伝わる

- 「信じたことのない方を、どうして呼び求められよう。聞いたことのない方を、どうして信じられよう。また、宣べ伝える人がなければ、どうして聞くことができよう。」ローマ10:14

一気に広まる

- 「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」使徒1:8

日本における福音のパンデミック

戦国時代

- 1519年、フランシス・ザビエル来日
- 70年間に70万人が“キリシタン”になった？

明治時代

- 禁教が解かれ、多くのクリスチャン教師たちが来日
- ミッションスクールを中心として知識層に広まった

第二次世界大戦後

- 欧米から宣教師が大挙して来日
- 全国的に開拓伝道が行われ、若者中心に広まった

日本における福音のパンデミック

戦国時代

国全体を揺るがす混乱

- 1519年、フランシス・ザビエル来日

- 70年間に70万人が“キリシタン”になった？

明治時代

恐れと不安

- 禁教が解かれ、多くのクリスチャン教師たちが来日

- ミッションスクールを中心として知識層に広まった

第二次世界大戦後

普遍的なものへの願望

- 欧米から宣教師が大挙して来日

- 全国的に開拓伝道が行われ、若者中心に広まった

時代に合った伝道

目指せ！4度目の福音のパンデミック

コロナウイルスによる世界的な混乱

- 高度な文明社会が目に見えないウイルスによって破壊された

人々の心をおおう恐怖と不安

- 感染の恐怖・将来に対する不安

普遍的なものへの願望

- 何があっても揺らぐことのない何か＞信仰

時代に合った伝道

- 祈りながら探そう！

「疫病」と呼ばれた男

パウロを訴えた言葉

- 「実は、この男は**疫病**のような人間で、世界中のユダヤ人の間に騒動を引き起こしている者、『ナザレ人の分派』の主謀者であります。」使徒24:5
- 大祭司アナニアの弁護士、テルティロがローマ総督フェリクスに対して、パウロについて述べた言葉
- 当時から疫病(感染症)は人々に恐れられていた！

フェリクスに証しした

- 「数日の後、フェリクスはユダヤ人である妻のドルシラと一緒に来て、パウロを呼び出し、キリスト・イエスへの信仰について話を聞いた。」24:24

宣教という愚かな手段

世は自分の知恵で神を知ることができませんでした。それは神の知恵にかなっていません。そこで神は、**宣教という愚かな手段**によって信じる者を救おうと、お考えになったのです。

＜コリントー 1章21節＞